

□議員名：杉本 保喜

1 防災体制について

論点	消防団活性化総合計画での具体策を知らされたい。
回答	具体的内容については、承知していないが、平成28年度中の完成に向け、現在作業を進めている。消防団の増員、拡充は喫緊の課題であると認識しているし、事業所との協力も更に増やしていきたい。

論点	災害ボランティアの受け入れ等の対応策を知らされたい。
回答	地域防災計画にある災害ボランティアの支援体制の机上訓練は実施していない。今後、社協と市が協働して、何らかの方策で机上訓練をやってみたい。

論点	避難所マニュアルの作成状況を知らされたい。
回答	県のマニュアルを参考に今年度中に作成したいが、有事を考え、暫定的に取りまとめたところである。指摘されていた避難者カードは英語版について作成を終了して、使用できる状況である。 備蓄する物品については検討中であるが、業者との協定も検討していく。

論点	市災害対策本部の設置場所の変更場所として、小野田消防署を第一候補地としているが、このための業務継続計画（BCP）は試行しているか。
回答	BCPはやっていない。必要性を感じているので、今後、実施する防災訓練などに取り入れることも研究したい。

論点	防災行政における具体的強化策はあるか。
回答	危機管理室に消防局から出向職員を配置し、消防局と連携して対応できるよう機能強化を図っている。危機管理課への昇格は、総務課全体で対応する体制でいきたいのではない。 防災リーダーの配置は、来年4月の体制に向けて検討する。

## 2 当市における児童数の減少における教育体制について

論点	少子化における児童数の減少から教育環境に問題が生じている。 教育担当部門では、具体的な解決策をもっているか。
回答	現在、過小規模が継続される状況であるので、早い時期に関係者により構成する適正配置についての協議機関を設置し、協議していく。 今後の児童数を注視し、市学校適正規模適正配置基本方針に沿って対応を図る。

論点	「特認校」制度の導入を検討してはどうか。
回答	特定の学校を特認校とする予定は、現在のところない状況である。 今後、通学区の弾力的運用の可能性を模索していく。その弾力的運用を検討する中で、同時に特認校についても研究していく。 それぞれの学校でサマースクールのようなものを企画して校区外の子ども達にも募集を広げることについては教育委員会としても歓迎したいと考えている。